

テクネ 映像の教室

in 東京藝術大学

参加クリエイター： 新井風愉 / 曾根光揮
辻川幸一郎 / 古屋 遙 / 谷川英司

東京藝術大学大学美術館 陳列館 [東京・上野公園]

2018年12月8日(土) — 12月16日(日)

超高精細映像が広げる表現の可能性

ART of 8K



東京藝術大学

ART of 8K



新井風倫【1024】

赤ん坊からお年寄りまで人生の4段階の姿を表す1024体のフィギュア(それぞれ高さ3cm)を縦横それぞれ32体ずつ、3m角に並べて撮影しました。プロジェクターからの光で、立体的にアニメーションします。



2018年12月1日からNHKでは、これまでにない高画質な映像と迫力の音響で“未知の映像体験”を届ける「BS4K・BS8K」の放送が始まります。この機会に、NHK Eテレ番組「テクネ映像の教室」では、CMやミュージックビデオ、メディアアートなど映像制作の第一線で活躍する気鋭のクリエイターたちと、まったく新しいアプローチで8Kという次世代の映像表現に挑戦しました。

8Kは「新しい映像表現」たり得るか?この展覧会では、「臨場感」「ミクロ」「マクロ」など、従来語られる超高精細映像の魅力の定説を超えるクリエイターたちの「こたえ」と、そこに至るまでの思考の軌跡を、大画面での「8Kテクネ」映像上映、制作に使われた絵コンテや小道具、メイキング映像などから、強烈に「体験」していただきます。



曽根光揮【足元の宇宙】

石表面の凹凸が惑星のイメージに似ていることに注目し、石の表面をクローズアップ撮影。意外な世界を楽しませる映像に挑戦しました。宇宙船で作業する人々も8KCGで合成されています。



谷川英司【mimesis】

カラーバーに含まれる色のひとつひとつを、「黒い背景に黒い馬」「赤いダリアに赤い塗料が落ちる」など同色の中に質感の違いを際立たせて撮影することで、「色」の表現の可能性を追求しました。



辻川幸一郎【88888888-K】

カメラの出力を直接つないだモニターを撮影することでおきる〈フィードバック現象〉に注目。コミカルなキャラクターがアクションする画面が奥へと無限に続く、8Kの解像度だからこその作品。



古屋 遙【The Window】

8K画面を「モニターではなく、窓」ととらえ、見る人が8Kを「物理的に体感」する映像に挑戦しました。7人のパフォーマーは、85インチモニターで見たときに等身大になるように撮影されています。



TALK EVENT

パネルディスカッション「8Kと表現」 12月16日(日)午後1時-3時

会場 東京藝術大学美術学部第1講義室 定員 先着●名 ※聴講無料

新井風倫・曽根光揮・谷川英司・辻川幸一郎・古屋遙 (参加クリエイター)

川村真司 (「8Kテクネ」クリエイティブディレクター)

織田聡 (「8Kテクネ」ディレクター)

司会: 岡本美津子 (「8Kテクネ」プロデューサー/東京藝術大学映像研究科教授)



NHKのBS放送に
新たな2つの
チャンネルが誕生

世界初

NHK BS8K

どこでも忠実に、を追い求めて新世代のテレビ放送が始まります

4倍美しい

NHK BS4K

ハイビジョンの4倍の画素数で美しい画面が楽しめる放送です



4K・8K スーパーハイビジョン ナビゲーター ディレクション

会場=東京藝術大学大学美術館 陳列館

会期=2018年12月8日(土)

——12月16日(日)

開館時間=午前10時~午後6時 (入場は5時30分まで)

休館=12月10日(月) 入場料=無料

主催=NHK 東京藝術大学

共催=東京藝術大学 COI 拠点

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

大学美術館ホームページ <https://www.geidai.ac.jp/museum/>

問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)